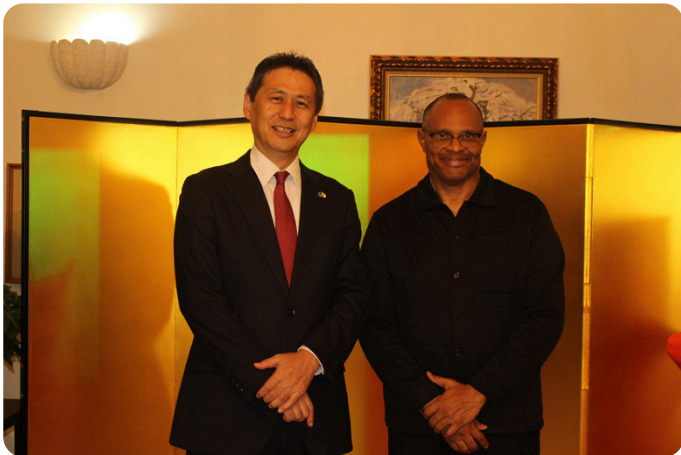


2026年3月20日

天皇誕生日祝賀レセプション

3月20日、宮坂祐介駐バルバドス日本国大使の主催により、大使公邸において天皇誕生日祝賀レセプションを開催しました。本イベントには、バルバドス政府を代表して出席したクリストファー・シンクラー外務・貿易大臣をはじめ、グレゴリー・ニコルズ内務・情報大臣、サンドラ・ハズバンズ技術・職業訓練大臣ら閣僚級の要人を含む、政府高官、国際機関や外交団の代表、学界や民間セクターの代表者など、総勢100名の参加を得ました。

式典において挨拶に立ったシンクラー大臣は、日本とバルバドスの間で行われている多岐にわたる協力関係を強調し、これまでのパートナーシップに対する深い謝意を表明しました。これに対し宮坂大使は、防災や教育など幅広い分野での協力に言及するとともに、万博やビジネスフォーラムの成功を通じて両国の絆が一層強まっているとし、2027年の外交60周年に向け、今後も互いに支え合い、交流をさらに深めていきたいと述べました。



左より: 宮坂大使と、クリストファー・シンクラー外務・貿易大臣



左より: 宮坂大使と、グレゴリー・ニコルズ内務・情報大臣

会場では、この機会を記念して海外にも幅広く公演活動を行っている尺八奏者・作曲家の入江要介氏によるパフォーマンスが行われ、日本の伝統的な竹笛の音色を披露しました。また、入江氏は日本とバルバドスの友情の証として、西インド諸島大学（UWI）ケイブヒル校へ尺八を寄贈しました。

あわせて、坂本公邸料理人による多彩な日本料理がゲストに振る舞われ、ソムリエの大竹彩子氏による伝統蒸留酒「焼酎」のデモンストレーションも行われました。日本料理と共に、日本産の清酒、梅酒、焼酎、沖縄の泡盛を通じて、参列したゲストはそれぞれの個性豊かな味わいを楽しみながら、日本の伝統に触れることとなりました。本レセプションでは、多彩な交流を通じて、日本とバルバドスの関係を深める貴重な機会となりました。



左より：尺八奏者・作曲家 入江要介氏から尺八の寄贈を受けるUWI文化・創造・舞台芸術学部長 デビッド・アコンボ教授、および西インド諸島大学ケイブヒル校副学長 ウィンストン・ムーア教授



左より: 中江参事官、クリストファー・シンクラー外務・貿易大臣、宮坂大使、グレゴリー・ニコルズ内務・情報大臣



尺八奏者・作曲家である入江要介氏を招き、伝統的な竹笛による演奏が披露されました。両国の友好を象徴するバルバドスおよび日本の国歌、「Spirit of Samurai」の力強い旋律が会場に響き渡りました。



日本の伝統的な蒸留酒である焼酎を紹介するソムリエの大竹彩子氏。テイスティングや解説を通じて、ゲストは日本の豊かな食文化への理解を深める機会となりました。



会場は終始和やかな雰囲気に入れ、ゲスト同士が親睦を深める貴重なひとときとなりました。



夕刻の懇親会を楽しむゲストの皆様。